

前沖縄防衛局長の発言に抗議し、防衛大臣の辞任を求める決議

去る11月28日、田中聡前沖縄防衛局長は、普天間飛行場代替施設建設事業に係る環境影響評価書の提出時期を問われ「これから犯す前に犯しますよといますか」と、性的暴行に例え看過できない発言を行ったことが明らかになった。

沖縄県民はこれまで、米軍基地があるゆえに、米兵による少女暴行事件や県民の尊い生命が奪われた事件・事故など、筆舌に尽くしがたい苦しみと痛み、人権じゅうりんを戦後66年の今なお強いられている。この沖縄における防衛局長の発言は、県民の長年に亘る耐え難い苦痛を理解せず、県民と女性を侮辱し愚弄するもので、人権感覚を欠くこの暴言は到底許されるものではない。

今回の発言は、県民の総意に反し、普天間基地辺野古移設及び沖縄に基地を今後も押し付ける政府・官僚の本音が露呈し、沖縄軽視と差別意識が表出した発言であり断固許されるものではない。

さらに、政府は田中前局長を更迭した直後に環境影響評価書を提出すると明言していることは、沖縄に対する配慮に欠けるとともに、政府の「沖縄県民に対し誠心誠意理解を求めていく」の発言は、県民にとってただ空しく映り日々怒りが込み上げ不信が募るばかりである。

よって、本市議会は、田中聡前沖縄防衛局長の不適切な発言に断固抗議するとともに、任命責任者である防衛大臣の辞任を強く要求する。

以上、決議する。

平成23年12月12日

沖縄県石垣市議会

あて先

内閣総理大臣、防衛大臣、内閣官房長官